

留学準備	
事前語学学習方法	山村先生による英語の特別授業が主な事前語学学習。その他にも英検準1級取得を目指して単語学習やリスニング学習を自主的に行った。
準備で苦勞したこと	ビザの取得をする際に様々な書類が必要でありその準備が大変だった。また、予算の書類の作成も大変だった。 教育実習と留学の準備期間が重なっていた為予定の調整も大変だった。
ビザの種類	J1
申請先	アメリカ大使館
提出書類	パスポート、DS-160、カラー写真(背景が白、メガネをかけてはいけない等の決まりあり)、I-20、財政証明書、英文成績証明書(あったほうが良い)、SEVIS 費領収書、面接予約確認書、戸籍謄本の英訳(自作でも OK) ※これらをクリアフォルに入れる。
申請費用	¥38,895
申込手順	http://www.ustraveldocs.com/jp_jp/jp-niv-visaapply.asp このリンク先の動画でよく説明されている。 ・各種書類を手に入れ、DS-160 をオンライン上で作成する。記入には2時間以上掛かる為定期的にセーブをしながら行う。 ・DS-160 のオンラインフォームを記入後、面接の予約を行う。面接はアメリカ大使館まで行って行う。提出書類を忘れて行くと面接を受けられないので注意。また持ち物やバッグの大きさも注意する。※面接の予約は早めに！ ・合格ならば、何日か後に回収されたパスポートに VISA が付いて郵送されてくる。I-20(留学先からの受け入れ許可証)があるから基本的に落ちることは無い。
ビザ取得所要日数	10 日
大使館等での面接	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→聞かれた質問：どこに行くか、何を勉強するか
他に留学に必要な準備	日本円を現地通貨に変える、クレジットカードの準備(2つあると良い)、SIM カードの契約、現地の気候に合わせた洋服の準備、色々悩んでいてもキリが無いので楽しむぞという心構え(ある意味悩むことへの諦め?が大切です)

現地到着後	
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→ <input checked="" type="checkbox"/> 大学関係者 <input type="checkbox"/> その他 () 無→空港から大学までどのように移動しましたか？ <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 <input type="checkbox"/> バス・トラム <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ()
オリエンテーションの有無／時期／内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 時期：8/16～8/22 内容：アーカンソーテック大学について、履修の方法など
渡航後必要な手続き	健康診断&ワクチンの証明書を提出&実力診断テストを受けた後、アドバイザーに合い履修登録を行う。ワクチンの証明書を提出しないと授業などに参加できない。
大学の雰囲気	<p>国際色が豊かで、様々な国から留学生が来ていた。それでも同じ人種で固まるグループは多かった(白人は白人、黒人は黒人といった感じ)。それでも輪に入れば仲良くなれると思う。</p> <p>みんなとても親切で色々と助けてもらった。静かにならずに英語を話そうとする態度を示せば友達は簡単にできると思う。</p> <p>キャンパス内には生活するための基本的な場所(食堂、郵便局、生協のような所、寮)は揃っている為基本的に外に出なくても生活することはできるが、週末は勉強以外やる事が無くなるとつまらない為積極的に声をかけて友達と遊んだ方が良い。</p> <p>私の寮はキャンパスの端で、エンジニアリング関係の授業が良く行われる建物までほとんどキャンパスを横断するような形で行っていたが歩きで約15分掛かる。</p> <p>田舎にある大学だが、その分自然は多くレンタルできる自転車で周りを回ってみるととても良い。</p> <p>グーグル・マップのストリートビューでどのような所か先に確認してみる事をおすすめする。</p> <p>国際センターの職員さんの一人が日本人の為、困ったことがあったら助けてもらえる。</p>

生活について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 寮（寮名）：Stadium Suites <input type="checkbox"/> アパート／ホームステイ <input type="checkbox"/> その他（ ）
住居の場所	<input checked="" type="checkbox"/> キャンパス内 <input type="checkbox"/> キャンパス外 キャンパスまでの距離： <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 <input type="checkbox"/> その他（ ）で約 0分
部屋の種類／同居人	<input type="checkbox"/> 1人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 2人部屋 その他 同居人： <input type="checkbox"/> 有（ 人） <input checked="" type="checkbox"/> 無
共有部分	<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> その他（ ）
食事	<input type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 寮食 <input checked="" type="checkbox"/> 大学内学食 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ミールプランへの加入	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→加入したプラン（Unlimited meals plus 100 DCB）
住居について注意事項	決められた時間にはできるだけ騒音を立てないようにしたり、アルコール、タバコ関係のモノの持ち込み禁止など。
銀行開設	<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> しなかった 銀行名：
生活費等支払い手段	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード <input type="checkbox"/> 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） <input type="checkbox"/> その他（ ） アドバイス：現金はパーティやレストランでの割り勘などで意外と使う為、余分に持っていくか、現地で現金を手に入れる方法を調べたほうが良い。おすすめの方法はデビットカードを用いたスーパーなどでのキャッシュバック。または現地に銀行口座を作り日本から入金してもらうなど。
携帯電話(SIMカード)	<input checked="" type="checkbox"/> 購入した <input type="checkbox"/> しなかった
現地での友人等との連絡手段	<input checked="" type="checkbox"/> LINE <input checked="" type="checkbox"/> Facebook <input type="checkbox"/> WhatsApp <input type="checkbox"/> Gmail <input checked="" type="checkbox"/> iMessage <input checked="" type="checkbox"/> その他（Instagram、SMS）
病気や怪我等での通院	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有→ <input type="checkbox"/> 大学内のクリニック <input type="checkbox"/> 最寄りの医療機関 <input type="checkbox"/> その他（ ）
医療関係の注意事項等	海外の薬は強いので良く効くが強すぎる物もあるので注意。

授業について	
授業期間	1年 秋学期： 8月 23日～ 12月 12日 1年 春学期： 1月 15日～ 5月 8日
履修登録	<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 時期： 8月頃 方法： <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> 志願書類に記入 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（アドバイザーとの面談を通して）
履修した科目名	（ 1年 秋学期） Orientation to the University Calculus I Composition Introduction to Electrical Engineering Foundations of Computer Programming I （ 1年 春学期） Calculus II Digital Logic Design / Lab General Physic I / Lab
授業・履修に関する注意事項	ワクチンの証明書提出&健康診断&実力診断テスト (Accuplacer というもの)を受けた後ではないと履修登録はできない。日本からは行えないので注意！

費用について			
項目	詳細	費用	支払方法
渡航費	オープンフィックスチケット	¥230,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
ビザ申請料		¥38,895	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
住居費	月額 78,980 円×9 ヶ月分	¥710,600	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
学費	Fall + Spring Semester	¥1,354,700	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
教材費	教科書代	¥266,056	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
保険料	付帯海外プラン D10 ヶ月＋ アイラック安心サポートデスク	¥129,180	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
食費	Unlimited meals	¥514,800	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
日用品	食べ物など	¥200,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
交通費			<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
			<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
			<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
			<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
			<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
			<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
			<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
総額 (概算)		¥3,444,231	

※以下、行数は文章量に合わせて調整してください。

留学のきっかけ

家と大学の往復に疑問を感じていた時、偶然神山奨学金のお知らせが届きこんな素晴らしい機会は今後巡り会えないと思ったのがきっかけ

留学の目的

神山奨学金による海外留学の目的である「授業を受けて単位を取る」というのが主な目的。個人的には外国人の友達を作るというのが目的だった。

留学生活（学習面）

・何故かアーカンソーテック大学では Freshman 扱いとなっており、上位クラスを受けるには下位クラスの単位が必要であったことから主に Freshman、Sophomore の授業を受けた。秋学期、春学期で取った授業の内容は基本的に電機大で過去に学んだ事があり、もちろん全て英語で行われたがなんとかついていけた。

・Introduction to Electrical Engineering にてロボット競技会があり、私一人＋アメリカ人 2 人のチームで挑んだ。ネイティブ同士の会話スピードはとても早くミーティングについていくのがやっとだったが、その中ではプログラミングが一番できたのでプログラミング関係の事は積極的に行った。また、最初のうちはミーティング内容をまとめてもらう等してもらった結果段々と会話で発言できる様になり、最後辺りはしっかりと話し合いに参加できていたと思う。協議会の結果、私のチームは 1 位となった。

・春学期で取った Digital Logic Design と General Physics I はレクチャークラスとラボクラスの両方があり、Lab クラスでは 2～3 人のグループを作って実験を行った。先生は基本的に実験に対してアドバイスをしてくれなかった為、生徒同士でどの様に進めて行けば良いか考えて実験を行う必要があった。それでも授業時間内で終わらせる必要がある為、とても大変だった事を覚えている。Digital Logic Design の方では FPGA を用いて実験を行ったが、FPGA を触った事がある人がクラス内で私一人だけだった為、よく別の班の人に質問を聞かれた。

・数学やプログラミングについての質問をよく友達に聞かれ、教えるという事があった。英語を用いて相手に分かりやすく伝えるというのは難しいと感じたが良い経験になった。

留学生生活（生活面等）

・基本的に学内のみで生活をする事はできる。寮に入る生徒は Meal Plan に加入する必要があり、三食食べる事が出来る。週に 2 度、無料のシャトルバスが大学とウォルマート(スーパー)を往復してくれる為それを用いて買い物に行く事が出来る。

・9 ヶ月の間に 1 週間程度の休暇が何回もあり、Spring Semester と Fall Semester の間に 1 ヶ月間の休暇がありこの期間は寮がクローズされる。追加料金を支払えばステイする事はできるが学食は閉まる為基本的に現地の学生は家に帰り、留学生も帰国する人が多い。私は運良く現地の友達の家ステイさせて貰ったが、9 ヶ月間超の留学の場合は休暇の過ごし方をしっかりと考えていった方が良い。

・基本的な移動方法は友達に車に乗せてもらう以外だと学内の自転車レンタル。電車やバスは無い。Uber を使う事はできるが高い為、やはり友達に車に乗せてもらうのが一番現実的だと思う。

・9 ヶ月の間に行事が沢山行われた。うちいくつかの行事は留学生が主体となって行うものだった。日本人留学生が主体となって行うイベントも幾つかあり、食べ物を振る舞ったりソーラン節を踊ったりした。イベントの準備に関しては IMSSO(向こうの国際センター的な組織)のセンター長が日本人の方であり、その方の教会に行き料理をしたりできる。ソーラン節の練習については 1 ヶ月程度行ったが、これに関しては学生同士で自主的に行った。

・インターミューラルスポーツという学生同士でグループを作って競い合うというものにも参加した。ソフトボールをしたが久しぶりに運動できた。何かスポーツをやっているという生徒は多く、大学内には設備がかなり充実しているジムがあり、無料でプールやロッククライミングもできる為スポーツをしたいという学生は是非アーカンソーテック大学に留学すると良いと思う。

留学を通して得たもの

・静かにならずに自分の気持ちを遠慮せず伝えるという事の大切さを知った。アメリカでは自己主張をしないと奇妙な人だと思われてしまい、友達も離れていってしまう。またアーカンソーテック大学の様な田舎に位置する大学ではどうしても友達の助けが必要な場面には遭遇する為、遠慮せずにドンドンと友達に助けを求めるのは必要である。曖昧な返事はせずに yes・no をしっかり伝える事も大切。

・バックグラウンド・母国語が違ったとしてもみんな友達になれるという事を知った。アーカンソーテック大学には世界中の様々(主に南半球の国)な所から留学生が来ており、他国の留学生は皆とても英語が上手い。一方で日本人は英語が下手であるという事は強く感じたが、それでも英語という共通のコミュニケーションツールを用いて友達になれる事ができるというのは学びであった。

・スピーキングを伸ばす一番の方法はやはり友達と英語で話すという事である。勉強が忙しいから図書館に籠もってずっと勉強を行うのも一つだがそれではスラングが多量に含まれた若者の生きた英語は絶対に身に付かない。勉強と友達との遊ぶ時間の比率は上手く考えつつ、個人的にはだが友達と遊ぶのは大切にしたい方が良い。私が留学していた時は日本人みんなの英語を話そうとする意識は高く、日本人数名+他の外国人で遊んでいた時、日本人同士で話していたとしても英語を使った場面は結構あった。日本人とあまり遊ばないようにした方が良いという考え方もあるが、これは逆に交友関係を狭めてしまう事に繋がる可能性がある。常に日本人と居るのは良くないが繋がりを持つようにした方が良い。友達の友達で知り合い仲良くなった例は数え切れない程ある。

・9ヶ月間の留学でももちろん英語はある程度話せる・聞ける様にはなる。それでも、英語力を一定の水準を保って安定させるには9ヶ月では足りない。「今日は英語が話せた・よく聞き取れた」という日と「今日はなんだか話せなかった・聞き取れなかった」といって落ち込む日は交互に来た。それでも自身の英語力で凹んでしまい部屋に籠もるといった事はしない方が良い。英語の環境に身を置くという事が大切である。英語力に波を感じるというのは上達している証拠だと思うのでそれを念頭に置くと良い。

・いくら英語圏の国に来たと行ってもいきなりネイティブの友達ができるとは思わないほうが良い。私がネイティブの友達と仲良くなったのは2ヶ月後の話だった。焦らず英語に慣れていないうちは他国の留学生と仲良くし、英語を話す機会を増やしつつネイティブの人とも会話をしていくという流れで良いと思う。

今後の学習計画

とにかく留学で培った英語力を落とさない様に、英語を話す機会を持っていきたい。現在、イングリッシュラウンジに参加しておりネイティブの先生と英語を話す機会を自主的に作っている。また、大学外部の英語グループなどへの参加もしていきたい。

各種英語資格(TOEIC、TOEFL、IELTS、英検など)に積極的に挑戦していきたい。ひとまず、特に勉強はせず TOEIC に挑みどの程度健闘できるのかを知りたい。

向こうでできた友達とも頻繁に連絡を取っているがこの習慣はなくさないようにしていきたい。

アメリカのヒットチャートや最新の文化などは日本からでも追うことはできるので追っていきたい。

留学を考える方へメッセージ

私は神山奨学金の知らせを聞くまで海外留学を考える事は無かった。少なくとも学部1～3年生までは私が留学に行くとは思いもしなかった。それでも家と大学の往復に少し疑問を感じていたのも事実である。そうした中で奨学金を給付して頂き海外に留学をできるというチャンスは今後の人生で絶対に巡り合わないチャンスだと思い志望した。今まで海外旅行をした事も無く、海外は治安の悪い所という認識が強い中、出国前はずっと不安だった。一旦海外に出れば英語で生活をする必要があり、最初のうちは上手く英語が話せなかったりそもそも全く聞き取れなかったりと大変な思いをする事はある。それでも意外と何とかなる。それどころか、オープンな気持ちになって英語を話す時は普段の自分とは性格が変わるといった事も起きる。他国の留学生との交流をしたり、海外で起きているムーブメントや事件をリアルタイムで知ったり、様々な人種問題を目の当たりにして視野が広がるという事も事実である。日本の良いところ・悪いところを再認識する良い機会にもなる。こうした経験は日本に居ると中々する事はできない。英語が心配でも海外に行くという経験は絶対にした方が良くと思う。海外で暮らしたという経験は今後絶対に自信に繋がるはず。電大生なら真面目に授業を受けていれば、専門科目の授業に関しては英語で行われたとしても着いていける。

最後に繰り返しになるが、英語への自信が無くても留学に興味があるなら絶対に行った方が良く。